



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月8日

上場会社名 太平洋セメント株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 5233 URL <http://www.taiheiyo-cement.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 修二
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 荒木 誠一 (TEL) 03-5531-7334
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	187,320	12.3	9,174	—	6,944	—	2,042	—
25年3月期第1四半期	166,761	1.3	490	—	△4,222	—	△5,380	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 11,338百万円(—%) 25年3月期第1四半期 66百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	1.66	—
25年3月期第1四半期	△4.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,007,158	228,294	19.7
25年3月期	982,473	219,826	19.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 198,486百万円 25年3月期 191,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	382,000	8.1	14,000	31.8	9,000	97.1	1,500	178.1	1.22
通期	798,000	6.7	48,000	18.1	40,000	22.4	13,000	14.7	10.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	1,237,800,586株	25年3月期	1,237,800,586株
26年3月期1Q	9,553,078株	25年3月期	9,543,868株
26年3月期1Q	1,228,251,595株	25年3月期1Q	1,228,315,606株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経済情勢、市場需要、原燃料価格、為替レート等様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済政策や金融政策、また東日本大震災の復興需要により、景気は着実に持ち直してまいりました。一方、世界経済は、米国が緩やかな景気回復局面が継続するものの、欧州の債務問題長期化や新興国経済の成長鈍化などの影響により、総じて先行き不透明な予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中で、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,873億2千万円（対前年同期205億5千8百万円増）、営業利益は91億7千4百万円（同86億8千4百万円増）、経常利益は69億4千4百万円（前年同期は42億2千2百万円の経常損失）、四半期純利益は20億4千2百万円（前年同期は53億8千万円の四半期純損失）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。各金額については、セグメント間取引の相殺消去前の数値によっております。

① セメント

当第1四半期連結累計期間におけるセメントの国内需要は、東日本大震災の復興工事や全国の防災工事が本格化し、また都市部における民間建築投資が堅調に推移しているため、1,113万屯と前年同期に比べ6.8%増加しました。そのうち、輸入品は19万屯と前年同期に比べ8.7%増加しました。また、総輸出数量は191万屯と前年同期に比べ14.8%減少しました。

このような情勢の下、当社グループにおけるセメントの国内販売数量は受託販売分を含め392万屯と前年同期に比べ10.0%増加しました。輸出数量は61万屯と前年同期に比べ11.6%減少しました。

米国西海岸のセメント、生コンクリート事業は、好天にも恵まれて出荷数量が伸び、市況も一部地域を除いて回復傾向を示しています。中国のセメント事業は、競争激化の影響を受けました。ベトナムのセメント事業は、好調な輸出により業績を伸ばしました。フィリピンのセメント事業は、堅調な内需に支えられ、好調に推移しました。

以上の結果、売上高は1,209億5千8百万円（対前年同期111億8百万円増）、営業利益は54億5百万円（前年同期は9億1千3百万円の営業損失）となりました。

② 資源

骨材事業は、東日本大震災の復興需要により東北地区等の出荷が増加し、販売数量は前年同期を上回りました。鉱産品事業は、鉄鋼向け石灰石の出荷等が堅調に推移しており、販売数量は前年同期を上回りました。建設発生土処理事業は、好調に推移しており、受入数量は前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は222億4千万円（対前年同期21億2千8百万円増）、営業利益は12億7百万円（同8億8千万円増）となりました。

③ 環境事業

石炭灰処理や脱硫材の販売などが引き続き好調に推移し、また災害廃棄物処理などの取り組みを進めたことから、売上高は215億7千7百万円（対前年同期67億2千1百万円増）、営業利益は17億7千1百万円（同4億5千5百万円増）となりました。

④ 建材・建築土木

地盤改良工事は主に首都圏の旺盛な需要に支えられて順調に伸長し、ALC（軽量気泡コンクリート）を含む建材・建築土木事業も総じて堅調に推移したことから、売上高は193億4千6百万円（対前年同期19億1千8百万円増）、営業利益は3億2千5百万円（前年同期は3億6千万円の営業損失）となりました。

⑤ セラミックス・エレクトロニクス

セラミックス事業は、半導体製造装置及び液晶製造装置向け製品ともに、ユーザーの設備投資が回復し堅調であったものの、エレクトロニクス事業において、EMS（電子機器受託製造）の不振を受けて、主に海外拠点での販売数量が減少したこと等により、減収となりました。

以上の結果、売上高は23億8千5百万円（対前年同期10億5千3百万円減）、営業損失は2億5千6百万円（前年同期は6億2千4百万円の営業損失）となりました。

⑥ その他

売上高は158億7千8百万円（対前年同期4億2千9百万円増）、営業利益は7億2千5百万円（同1億3百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は前連結会計年度末に比べ246億円増加して1兆71億円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ107億円増加して3,414億円、固定資産は同139億円増加して6,657億円となりました。流動資産増加の主な要因は現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産増加の主な要因は、有形固定資産のその他（純額）に含まれている建設仮勘定が増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ162億円増加して7,788億円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ180億円増加して4,806億円、固定負債は同18億円減少して2,982億円となりました。流動負債増加の主な要因は短期借入金及びコマーシャル・ペーパーが増加したことによるものであります。固定負債減少の主な要因は長期借入金の減少によるものであります。有利子負債（短期借入金、コマーシャル・ペーパー、1年内償還予定の社債、社債、長期借入金の合計額）は、前連結会計年度末に比べ91億円増加して4,831億円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ84億円増加して2,282億円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、現時点では平成25年5月14日に公表しました連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,379	65,710
受取手形及び売掛金	174,336	172,983
商品及び製品	25,920	28,156
仕掛品	4,788	5,938
原材料及び貯蔵品	36,455	38,041
その他	31,413	32,295
貸倒引当金	△1,587	△1,695
流動資産合計	330,706	341,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	146,664	145,323
機械装置及び運搬具(純額)	108,314	107,253
土地	152,625	154,144
その他(純額)	49,884	59,968
有形固定資産合計	457,489	466,689
無形固定資産		
のれん	11,303	11,617
その他	30,275	30,877
無形固定資産合計	41,578	42,494
投資その他の資産		
投資有価証券	85,128	85,458
その他	74,282	77,744
貸倒引当金	△6,713	△6,659
投資その他の資産合計	152,698	156,543
固定資産合計	651,766	665,727
資産合計	982,473	1,007,158
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	85,010	83,164
短期借入金	274,760	284,918
コマーシャル・ペーパー	—	9,000
1年内償還予定の社債	11,478	11,420
未払法人税等	11,000	7,645
賞与引当金	4,711	3,661
役員賞与引当金	7	7
事業譲渡損失引当金	2,971	2,971
その他の引当金	1,922	1,641
その他	70,730	76,218
流動負債合計	462,591	480,647

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
固定負債		
社債	32,385	32,645
長期借入金	155,336	145,141
退職給付引当金	25,448	26,357
役員退職慰労引当金	505	465
関係会社事業損失引当金	138	138
特別修繕引当金	343	358
資産撤去引当金	1,866	1,865
資産除去債務	8,032	7,467
その他	75,998	83,775
固定負債合計	300,054	298,215
負債合計	762,646	778,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,174	86,174
資本剰余金	50,636	50,636
利益剰余金	91,174	90,760
自己株式	△934	△941
株主資本合計	227,051	226,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,168	3,288
繰延ヘッジ損益	78	60
土地再評価差額金	4,563	4,474
為替換算調整勘定	△39,640	△31,935
在外子会社の退職給付債務調整額	△3,793	△4,030
その他の包括利益累計額合計	△35,624	△28,142
少数株主持分	28,399	29,808
純資産合計	219,826	228,294
負債純資産合計	982,473	1,007,158

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	166,761	187,320
売上原価	137,521	148,103
売上総利益	29,239	39,217
販売費及び一般管理費	28,749	30,042
営業利益	490	9,174
営業外収益		
受取利息	110	84
受取配当金	203	205
その他	926	1,182
営業外収益合計	1,240	1,472
営業外費用		
支払利息	2,279	2,172
持分法による投資損失	2,836	794
その他	836	735
営業外費用合計	5,953	3,702
経常利益又は経常損失(△)	△4,222	6,944
特別利益		
固定資産処分益	127	1,080
その他	22	45
特別利益合計	150	1,125
特別損失		
固定資産処分損	229	294
その他	389	30
特別損失合計	618	325
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,690	7,744
法人税等	864	5,500
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,554	2,243
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△174	201
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,380	2,042

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△5,554	2,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△786	148
繰延ヘッジ損益	△0	△18
為替換算調整勘定	4,930	8,491
在外子会社の退職給付債務調整額	△135	△236
持分法適用会社に対する持分相当額	1,613	709
その他の包括利益合計	5,621	9,094
四半期包括利益	66	11,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△640	9,613
少数株主に係る四半期包括利益	707	1,724

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	セメント	資源	環境 事業	建材・ 建築土木	セラミッ クス・ エレクト ロニクス	計				
売上高										
外部顧客への売上高	107,330	16,139	13,551	16,427	3,430	156,879	9,882	166,761	—	166,761
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,519	3,972	1,303	999	9	8,804	5,566	14,371	△14,371	—
計	109,849	20,112	14,855	17,427	3,439	165,684	15,448	181,133	△14,371	166,761
セグメント利益又は 損失 (△)	△913	326	1,316	△360	△624	△256	622	365	124	490

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、スポーツ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	セメント	資源	環境 事業	建材・ 建築土木	セラミッ クス・ エレクト ロニクス	計				
売上高										
外部顧客への売上高	118,026	17,630	20,447	18,278	2,377	176,761	10,558	187,320	—	187,320
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,931	4,609	1,129	1,067	8	9,747	5,319	15,066	△15,066	—
計	120,958	22,240	21,577	19,346	2,385	186,508	15,878	202,387	△15,066	187,320
セグメント利益又は 損失 (△)	5,405	1,207	1,771	325	△256	8,453	725	9,179	△4	9,174

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、エンジニアリング事業、情報処理事業、金融事業、運輸・倉庫事業、スポーツ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。